

科目分類	専門基礎分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	臨床病態論Ⅲ (血液・造血器) (膠原病) (皮膚アレルギー) (腎泌尿)	学 期	後 期	馬庭 泰久 (医師) 黒谷 浩史 (医師) 大畑 力 (医師) 松本 祐一 (医師)
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目的 (ねらい)	病態生理学で学んだ基礎的な病態に関する知識をもとにして、全身あるいは各臓器に発生する主要な疾患の病態、検査・治療について理解する。			
目標	1. 血液系に発生する主要な疾患の病態、検査・治療について理解する。 2. 膠原病に関する主要な疾患の病態、検査・治療について理解する。 3. 皮膚・アレルギーに関する主要な疾患の病態、検査・治療について理解する。 4. 腎・泌尿器系に発生する主要な疾患の病態、検査・治療について理解する。			
授 業 計 画	担当教員：馬庭 泰久			
	1. 血液			
	回数	単元項目	内容	授業形態/講義
	1	血液の生理と造血のしくみ	血液の成分と機能 造血のしくみ	
	2 3	疾患の理解	血液悪性疾患総論、各論 ・白血球(急性・慢性 骨髄性・リンパ性) ・悪性リンパ腫 多発性骨髄腫 骨髄異形成症候群 ・骨髄増殖性疾患(慢性骨髄性白血病 真性多血症 本態性血小板血症 原発性骨髄線維症) ・再生不良性貧血 ・特発性血小板減少性紫斑病 ・自己免疫性溶血性貧血 ・血友病 ・播種性血管内凝固 ・発作性夜間血色素尿症	
	4	疾患と治療の理解	・輸血について ・化学療法 ・骨髄移植 ・新規治療；分子標的薬・ ・免疫療法	
	5	血液疾患の看護のポイント など	総論・技術・無菌管理	
	担当教員：黒谷 浩史			
	2. 膠原病			
	回数	単元項目	内容	授業形態/講義
1	自己免疫疾患とその機序	・自己免疫とは ・免疫寛容とは ・自己免疫疾患とは		
2	症状とその病態生理	・関節痛・関節炎 ・皮疹 ・筋痛・筋力低下・筋炎 ・腎炎 ・血管炎 ・レイノー現象		
3	治療方法 疾患の理解	・一般療法 ・薬物療法 ・膠原病治療と妊娠 ・関節リウマチ ・全身性エリテマトーデス ・全身性強皮症 ・シェーグレン症候群		

